

# SUN

Soka Univ. News

Soka University News

vol. 72

2012 Winter

創価大学ニュース 72号  
2012年1月6日発行(年4回発行)



**特集1**

## 時代を切り開く リーダーから学べ!! 「トップが語る現代経営」

**特集2**

### 2013年「看護学部」開設に向けて

本学7番目の新学部「看護学部」の開設準備が進む

**特集3**

### 災害に強い大学づくり～防災対策と地域貢献

学生・教員・職員による全学防災訓練の実施

左から 1人目:山岡 政紀 学生部長  
2人目:小川 泰弘 (3年 / 投手)  
3人目:脇山 渉 (4年 / 2011年度主将)  
4人目:倉本 寿彦 (3年 / 2012年度主将)

全国ベスト4に輝いた硬式野球部員(創価大学ワールドグラウンドにて)



受講生最大の人気セミナー!

創大だからこそ実現した各界トップの経営者による講義!



学校法人創価大学 理事長  
**田代 康則**  
1952年生まれ。福岡県出身。  
75年創価大学経済学部卒業。  
77年同経済学研究科修士課程修了。  
創価学会本部勤務を経て、90年創価大学事務局入職。2004年に理事長に就任。



創価大学 経営学部長  
**前田 清隆**  
1952年生まれ。兵庫県出身。  
75年創価大学経済学部卒業後、  
外資系公認会計士事務所を経て、  
85年創価女子短期大学経営科へ。  
2006年創価大学経営学部長に就任。教授。



創価大学 文学部4年  
**櫻村 美穂**  
埼玉県出身  
県立和光国際高校卒業  
CSS所属  
日本赤十字社内定



創価大学 法学部4年  
**橋本 優人**  
千葉県出身  
県立千葉高校卒業  
CSS所属  
UDトラックス株式会社内定

累計238名!  
情熱溢れる  
講師陣

# “トップが語る現代経営”の魅力とは

## バラエティーに富んだ 様々な分野のトップが来学

**前田学部長:**今年で16年目となる授業、“トップが語る現代経営”ですが、日本や世界を代表する企業の“トップ”つまり企業の社長や会長を創価大学にお招きし、講義をして頂いております。現在までお迎えした企業の方々…その数なんと計238名。食品、印刷、放送、情報通信、流通、サービスなど、幅広い分野の方々がお越しされており、毎回2つの大教室が満席になるほど学生に人気の授業です。

**田代理事長:**最近では、東京に本社のある世界的な企業ばかりではなく、地方の伝統ある企業の方にも来て頂いています。これだけ様々な分野の企業のトップの方にお越し頂くことは、非常に難しいことなんです。ところで、おふたりは、どんな経緯でこの授業を履修したのですか?

**橋本さん:**僕はもともと法曹の仕事を目指していたのですが、この道は思い描いて

いた仕事とは違うのかな…と将来の進路を考え直していました。そしてもっと幅広く様々な仕事に目を向けなくてはと思ったことがきっかけです。この授業は全学部生が履修できるので、とてもありがたかったです。  
**櫻村さん:**私の場合は、知り合いの留学生が、この授業を履修するために創大に留学したと聞いて…そんなに評判が高いのなら受けなくては損だ、と思ったことです。またガイダンスで「この授業は、創業者が築いて来られた企業の方との信頼関係で成り立っています。だから皆さんには、創業者の代わりにお迎えしているという姿勢で講義を受けて欲しい」と担当の先生が話されていました。それが心に響き、履修することに決めました。

## 努力と信頼により 築かれた授業

**田代理事長:**おふたりがおっしゃるとおりです。現在のこの素晴らしい授業が受けられるのは、創業者の努力があったから

こそ実現しました。私たち1期生が就職活動を始める頃、創大で行われた企業の代表者が集まる催しがありました。そこで創業者はお一人お一人に名刺を渡し、「創大生をよろしくお願ひいたします」と深く頭をさげ私たちの就職活動の後押しをくださったのです。そのような地道な行動により企業の方の信頼を得ることができたのだと思います。そして当時の学長、学部長の必死の尽力もあり、1995年から講義を開催することができたのです。

**前田学部長:**大きな責任を担われている方ばかりですので、スケジュールを調整していただくことが大変な時もありましたが、さまざまな方の尽力により今日まで開講することができているのです。

## 創大生にやる気と決意を 与えるトップの言葉

**田代理事長:**実際に授業を受けてみてどうでしたか?

**櫻村さん:**各企業のトップの方々、優れた

人格と目標を持ち、行動力がある方ばかりでした。こういう方々が社長になっていくんだ!と肌身で感じる事ができました。

**橋本さん:**僕は授業で27名の方のお話を聞くことができました。経営哲学やリーダーとしての信念を直接聞けたことは、授業で得た知識よりも価値があり、勉強や就職活動への意欲が高まりました。

**前田学部長:**そうですね。講師はどの方も人柄がよく、またご苦労されています。そして企業の改革、革新を常に考えながら行動をされていると改めて感じました。最高の教育者というのは学生に知識を与える人ではなく、火をつける人です。この授業を受けて、やる気になったとか、こういった分野でこれから進んでみよう、と学生が決意する。そういう意味でトップの方の講義は最高の教育だと思います。講師の方に終了後に感想を伺いますと『創価大学の学生さんはしっかり聞いてくれますね、目が輝いています』とよくお褒めの言葉をいただきます。講義終了後には学生から鋭い質問、スタンディ

ングオーバーンでお迎えをする。さらには地方の企業の方がいらしたときには、その出身の学生が横断幕を掲げるなど、学生が積極的に取り組む姿勢に、好感をもって頂いているようです。

**櫻村さん:**それは嬉しいことですね。確かに講師の方々には、講義中も学生の真剣さ、雰囲気は驚かれ、学生を褒めてくださいます。そこから創大生の強みを知ることができましたし、就職活動での自信にも繋がりました。  
**前田学部長:**さらに講師の皆さんが声を揃えて言われるのは、充実したキャンパスを見て『こんなに素晴らしい環境で勉強できるなんて学生さんは幸せですね』ということです。

## 夢や希望を広げて 創大生も未来のトップへ

**田代理事長:**2013年には新総合教育棟が完成し、1,000人を収容できるホールも備わります。今度は是非この会場で講義をしてほしいですね。

**櫻村さん:**それは後輩も喜ぶますね。

今、私は橋本さんと一緒に、1・2年生のキャリア教育を支援する「キャリアサポートスタッフ」(CSS)という学生ボランティアに所属しています。1年生は企業の名前も業界もまだ分からないので、この授業を薦めたいと思っています。さらに履修する学生には、感謝の心を忘れず授業を受けて欲しいと思いますね。

**橋本さん:**僕も、就職説明会がスタートする3年生からではなく、1年生のうちから企業に目を向けることができる、この授業を後輩にも薦めたいです。

**田代理事長:**これから続く後輩の皆さんにもこの授業を受けて、こんな企業に就職したいな、こんなリーダーになりたいな、という夢や希望を広げる機会にしてもらえると嬉しいですね。

**前田学部長:**受講されている学生さんの中から、将来この“トップが語る現代経営”で語れる人物が誕生してくれることを期待しながら、これからもたくさんのトップに来て頂けるよう、努力して参ります。

多くの企業の皆様に貴重なご講義をいただきました。

2011年 10月5日



トヨタ自動車株式会社  
張 富士夫 代表取締役会長

**何**ごとも勉強という、そういう精神、まずは実際にものを見てみる。いいなと思ったらやりましょう。「百聞は一見にしかず」という諺がありますが、トヨタでは「百見は一行にしかず」と言います。(中略) 実際やってみると頭で理解していることとまた違う。何でもやってみると違うとを感じる。そうやってまた勉強ができる。行動は大変に大事だと私は思っている。(中略) 私は第一歩として行動すること。これをお勧めしたい。会社に入った時に、そういう精神で一つ一つ自分でやってみるといいと思います。

2010年 11月24日



パナソニック株式会社  
大坪 文雄 代表取締役社長

**今**われわれは、大変、大きな変化の時代に遭遇し、一面、苦しさもあるわけですが、この苦しい時代というものに本当に自分の能力を高める、自分を磨き上げるために天から与えられた機会だと思ひ、思い切って取り組むということが、大変、重要であるということでございます。(中略) われわれも、もちろんパナソニックとして経営理念に則って、こういう課題解決に勇気を持ってチャレンジしていきたいと思いますが、これから、今以上にもっと大きな問題として皆さんのような次代を担う若い世代の方の前に立ちだかってくると思います。解決していくのは皆さん自身です。そして、これは自分たちを磨く“天与の機会”であると考え、どう自分の成長に置き換えていくかが重要ではないかと思ひます。

2009年 12月9日



株式会社インターアクト・ジャパン  
帯野 久美子 代表取締役

**国**のリーダーシップも大事だけど、それぞれの自治体が頑張らないといけない。皆がそれぞれの立場で頑張らないといけない。今日は、この教室と別の教室で、900人近い皆さんが聞いていただいていると伺っています。皆さんも社会に出たら、自分の意見をしっかり持って、正しいことは正しい、間違っていることは間違っているんだと声を上げてください。「どうせ言っても変わらない」ではないのです。変わります。だから、ここにいらっしゃる900人の人が、これから自信を持って言い続けて、この創価大学の卒業生から日本を変えていってほしいと思います。

「トップが語る現代経営」講師一覧(過去5年間)

2011年度

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 9月28日 三樹 譲氏 (株式会社明治書院 代表取締役会長)        | 11月16日 養 豊氏 (兵庫県立美術館 館長)                 |
| 10月 5日 張 富士夫氏 (トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長)    | 11月23日 鈴木 繁氏 (光村印刷株式会社 代表取締役社長)          |
| 10月12日 宮島 和美氏 (株式会社ファンケル 代表取締役会長)     | 11月30日 大西 洋氏 (株式会社三越伊勢丹 代表取締役社長)         |
| 10月19日 大竹 美喜氏 (アメリカンファミリー生命保険会社 最高顧問) | 12月 7日 近藤 史朗氏 (株式会社リコー 代表取締役社長)          |
| 10月26日 老川 祥一氏 (株式会社読売新聞社 最高顧問)        | 12月14日 田沼 千秋氏 (株式会社グリーンハウス 代表取締役社長)      |
| 11月 2日 松井 正氏 (株式会社イトーキ 代表取締役社長)       | 12月21日 有馬 彰氏 (NTTコミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長) |
| 11月 9日 吉川 廣和氏 (DOWAホールディングス株式会社 相談役)  |  |

2010年度

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 9月22日 浅海 保氏 (株式会社中央公論新社 代表取締役社長)     | 11月17日 秋山 政徳氏 (株式会社スカパーJSAT HD 代表取締役社長) |
| 9月29日 鈴木 順也氏 (日本写真印刷株式会社 代表取締役社長)    | 11月24日 大坪 文雄氏 (パナソニック株式会社 代表取締役社長)      |
| 10月 6日 前田 新造氏 (株式会社資生堂 代表取締役社長)      | 12月 1日 前田 晃伸氏 (株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問) |
| 10月13日 田江 泰彦氏 (株式会社今井書店グループ 代表取締役社長) | 12月 8日 朝比奈 豊氏 (株式会社毎日新聞社 代表取締役社長)       |
| 10月20日 泉山 元氏 (三八五流通株式会社 代表取締役社長)     | 12月15日 大田 弘氏 (株式会社熊谷組 代表取締役社長)          |
| 10月27日 井上 剛宏氏 (株式会社植芳造園 代表取締役社長)     | 12月22日 川崎 秀一氏 (沖電気工業株式会社 代表取締役社長)       |
| 11月10日 石原 進氏 (九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長)    |   |

2009年度

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 9月30日 太田 美明氏 (株式会社太田胃散 代表取締役社長)   | 11月18日 石塚 邦雄氏 (株式会社三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役社長) |
| 10月 7日 花田 勲氏 (株式会社福島民報社 取締役会長)    | 11月25日 山田 昇氏 (株式会社ヤマダ電機 代表取締役会長)          |
| 10月14日 金井 耿氏 (株式会社日本旅行 代表取締役会長)   | 12月 2日 小城 武彦氏 (丸善株式会社 代表取締役社長)            |
| 10月21日 中村 光男氏 (株式会社日建設計 代表取締役会長)  | 12月 9日 帯野 久美子氏 (株式会社インターアクト・ジャパン 代表取締役)   |
| 10月28日 中田 正博氏 (株式会社時事通信社 代表取締役社長) | 12月16日 樹本 晃章氏 (社団法人日本動力協会 会長)             |
| 11月 4日 三木 明博氏 (株式会社文化放送 代表取締役社長)  | 12月23日 河部 浩幸氏 (株式会社九電工 代表取締役会長)           |
| 11月11日 原口 兼正氏 (セコム株式会社 代表取締役社長)   | 1月13日 鈴木 敏夫氏 (株式会社スタジオジブリ 代表取締役プロデューサー)   |

2008年度

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| 9月24日 岡田 正昭氏 (アサヒ飲料株式会社 代表取締役社長)   | 11月12日 樋口 武男氏 (大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長)         |
| 10月 1日 清野 智氏 (東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長) | 11月19日 井上 準二氏 (株式会社アイティ・フロンティア 代表取締役社長執行役員) |
| 10月 8日 西松 遙氏 (株式会社日本航空 代表取締役社長)    | 11月26日 三木 繁光氏 (株式会社三菱東京UFJ 銀行 相談役)          |
| 10月15日 鶴田 尚正氏 (日本出版販売株式会社 相談役)     | 12月 3日 小野寺 正氏 (KDDI株式会社 代表取締役社長兼会長)         |
| 10月22日 石川 聡氏 (社団法人共同通信社 代表取締役社長)   | 12月17日 山口 政廣氏 (共同印刷株式会社 取締役会長)              |
| 10月29日 葉山 莞児氏 (大成建設株式会社 代表取締役会長)   | 1月14日 植田 紳爾氏 (宝塚歌劇団 理事・特別顧問)                |
| 11月 5日 佐藤 健氏 (三菱製紙株式会社 取締役社長執行役員)  |   |

2007年度

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 9月26日 川田 達男氏 (セーレン株式会社 代表取締役社長)               | 11月14日 矢野 薫氏 (日本電気株式会社 代表取締役執行役員社長)  |
| 10月 3日 田中 邦彦氏 (株式会社くらコーポレーション 代表取締役社長)        | 11月21日 鳥原 光憲氏 (東京ガス株式会社 代表取締役社長)     |
| 10月10日 佐藤 安弘氏 (キリンホールディングス株式会社 相談役)           | 11月28日 大歳 卓麻氏 (日本アイビーエム株式会社 代表取締役社長) |
| 10月17日 野中 ともよ氏 (株式会社ティオーエムファクトリー 取締役)         | 12月 5日 勝俣 恒久氏 (東京電力株式会社 取締役社長)       |
| 10月24日 ロバート エンスリン氏 (SAP ジャパン株式会社 代表取締役会長兼CEO) | 12月12日 伊澤 平一氏 (勝山企業株式会社 代表取締役会長)     |
| 10月31日 重村 一氏 (株式会社ニッポン放送 代表取締役会長)             | 12月19日 庄山 悦彦氏 (株式会社日立製作所 取締役会長)      |
| 11月 7日 広瀬 道貞氏 (株式会社テレビ朝日 取締役会長)               | 1月 9日 新井田 博氏 (株式会社幸楽苑 代表取締役社長)       |

# 2013年 「看護学部」開設に向けて

THE DEPARTMENT OF NURSING

新学部となる「看護学部」は、2013年の開設に向けて準備が始まっています。ここでは、創価大学卒業後、看護師になった本学卒業生からの期待の声や、看護学部開設準備の進捗状況などを語り合っていました。

創価大学創立50周年へ向けての『グランドデザイン』にある新学部構想として、看護学部の設置準備が進んでいると伺ったのですが、現在、どのような状況でしょうか？

**寺西:** 昨年発表した創立50周年へ向けての『グランドデザイン』に、新学部設置の構想が謳われています。更に魅力ある大学を目指して、2013年以降、新しい学部を複数立ち上げることを検討しています。そして、まずは社会のニーズに応える、新たな分野として、看護系学部設置の検討を始めました。他者への貢献という本学の理念と「ヒューマンケア」を文字通り体现する「看護」の分野での人材育成に取り組んでいきたいと思っています。現在、長年にわたり、看護教育に携わってこられた稲光先生と村島先生にご協力いただき、準備を始めているところです。



**稲光:** 私は、創価大学通信教育部の非常勤講師として勤務していました。長

年、創価大学に看護学部ができることを待ち望んでいました。

**村島:** 今までの経験を生かして、創価大学の看護学部のために尽力したいと思っています。創大から看護師になっている卒業生も多いと聞きましたので、とても期待をしています。



創大卒業後、看護師になられた能見さんと今井さんは、なぜ、看護師になろうと思ったのですか。

**能見:** 看護師は、幼い頃の夢でもありましたが、実際にアフリカを訪れた時、医療や看護を必要とするアフリカに貢献したいと決意したためです。

**今井:** 私は、生命を守り手助けをする看護師になりたいという思いは、弟の病気を通して幼い頃から持っていました。創価大学に入ってからもその思いは持ち

続けていました。諦めきれない気持ちがあり、卒業後に看護大学で学び、看護師になりました。



創大時代に学んだことが、今、看護師としてどのように生かされていますか。

**能見:** 大学時代には、友人や教員の方々との触れあいの中で、他者への奉仕の精神を学びました。それは、患者さんへの深い理解や励ましといった看護に生かされています。また、国際交流などを通して、国際的感覚を培うことができました。その中で人生の目的、使命感が定まり、大いなる希望に向かって歩みを進めていくことができたと思います。何よりも、創立者への誓いに立ち返れる原点があるので、厳しい社会の荒波の中でも、耐え抜いて頑張りぬくことができました。



**今井:** 私は、人それぞれが持つ多様な価値観を認め、その人らしい人生を送ることの意味を深く学べたことです。大学時代は、生物工学科(現在:生命情報工学科と環境共生工学科の前身)で学び、寮生活も経験させてもらい、クラブに勉学にと、ハードな生活を送って



いました。毎日のように創立者から数々の激励をいただき、友人や仲間達と励まし合って貴重

な日々を送らせていただきました。その中で学んだことは、まさに「桜梅桃李」の生き方でした。他人と比べて一喜一憂することなく、自分はこう生きると決めて自分に誇りをもつことの大切さを学びました。

**稲光:** 豊かな人間性を培うとともに、他者への貢献の気持ちを育てている創大の学生は、看護師として必要な特性を持っていると思います。

どんな看護学部を作ろうと思われていますか。

**寺西:** グローバルな社会の中で、看護師を育成していく上で、本学の特色である国際性を最大に生かしていきたい

と思います。具体的には、充実した英語教育、海外研修プログラムなどの提供を通じて、国際性豊かな看護師の育成を目指しています。高い専門性とグローバルマインドを持ち、社会に貢献する人材の育成が目標です。



**稲光:** 今後、看護師としても、英語の知識を習得することは、ますます求められると思います。国際性ととも、4年間で、看護師として必要な知識を身につけてもらいたいですね。また、生命の尊厳を探究し、生涯にわたって、知識の習得と他者から学び続ける看護師を育成していきたいと思っています。

**村島:** 生命軽視の風潮が蔓延する現代にあって、「生命力の消耗を最小にする」ことが看護であるとのナイチンゲールの考え方を一歩進めて、「患者の生命力を引き出す」看護の在り方が益々求められています。生命には、無限の可能性のあることを信じ、不安をやわらげ、安心を与え希望を贈る、そんな人間性の光る看護師を育成したいと思っています。

現在の進捗状況をお聞かせください。

**寺西:** 現在、2013年4月「看護学部」開設を目指して、諸準備を進めているところです。募集人員は80名(予定)。出願資格や入学者選抜方法等については、検討中です。看護学部の施設については、学内に建設予定です。詳細については、決まり次第、創価大学ホーム



ページ等で紹介していく予定です。創価大学の看護学部は、ケアを必要とするすべての人・地域・社会のために貢献する勇気ある人を育てる学部です。ヒューマンケアのプロになるために、必要なナレッジ(知識)・スキル(技術)・スピリットを学ぶ学部です。

看護系学部設置準備室 村島さい子さん

看護系学部設置準備室 稲光禮子さん

寺西副学長

国立看護大学校勤務 能見清子さん

独立行政法人国立がん研究センター中央病院勤務 今井淳子さん



# 災害に強い大学づくり～防災対策と地域貢献

八王子市の広域避難場所に指定されている創価大学。教職員と学生とが一体となった「学生参加」による平常時からの防災対策と、キャンパスという物理資源を活かした「地域貢献」を重視してきました。創価大学における防災対策をご紹介します。



4,000名の学生が第一グラウンドに避難

## 全学生・教職員で全学防災訓練を行いました。

2011年10月21日(金)、全学生と教職員を対象にした、全学総合防災訓練を行いました。午前11時50分、八王子市内を中心に震度6弱の地震が発生したとの想定で、キャンパスにいた学生、留学生、教職員など、約4,000名が、緊急避難場所である第1グラウンドに整然と向かいました。

同グラウンドで挨拶された八王子消防署の内山署長は「これほど大規模な訓練を開催していただき感謝します。創価大学は施設

も充実していますが、地震はいつくるかわかりません。今日の体験を生かしてください」と参加者に語りかけました。また、田代理事長は、「災害が起こらないのが一番いいが、起こった場合に自分がどう動くか、対処するかを常に心に留め、これからも安全安心のキャンパスにしてまいります」と訴えました。今後も2年に一回の全学防災訓練で、防災意識および災害発生時の行動力の向上に努めていきます。

## A棟からの降下訓練や、「煙体験ハウス」「放水体験」などのコーナーも！



消防士によるA棟からの降下訓練



煙体験ハウス



消防士とともに放水体験

## 災害伝言ダイヤルサービス

伝言の録音・再生

045-345-1333へ電話をかけます。  
つながらない場合は06-7732-7346におかけください。

1をおす

ID、パスワードを入力  
(共に学籍・教職員番号を入力する。)

音声ガイダンスに従って、録音・再生をしてください。

## 安否確認システム・災害伝言ダイヤルサービスを導入

安否確認システムは、災害発生時に、事前に登録されている個人の携帯電話、携帯メール、PCメールに安否確認の通知が発信され、そこに返答することで安否報告をおこなうものです。また、本学専用の災害伝言ダイヤルサービスは、大災害発生時に電話が殺到しつながりにくくなった場合、家族と連絡を取る時などに利用できます。(上図に利用方法記載)



## キャンパス内にAED設置

現在、創価大学にはキャンパス内や各寮等、合わせて29台のAED(自動体外式除細動器)が設置されています。AEDは、2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、操作方法を音声ガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。2011年10月21日(金)に行われた全学総合防災訓練でも学生、教職員の希望者が「AEDによる心肺蘇生訓練」を行いました。



## 災害対応マニュアルを全学生・教職員に配布

全学生、教職員に、災害対応マニュアルを配布しました。災害が起こった時の大学構内の避難場所や緊急連絡先、安否情報システムの使用方法などを掲載しています。全ての人に情報がきちんと伝わるようにカラーユニバーサルデザインとユニバーサルフォントを使用し、また、いつ災害が起きてもすぐにマニュアルが見れるよう、随時携帯できるサイズになっています。



## 災害時に備えた非常備蓄品

創価大学では災害時に備え、総合体育館に設置された耐震構造の備蓄倉庫には、2日分の非常食を、また、マスク、燻新、簡易トイレなどの非常用品も備蓄しています。2011年10月21日(金)に行われた全学防災訓練の際にも、各食堂にて、アルファ米、パン、ジュースなどの非常食を無料で配布し、学生の皆さんを対象に非常食体験を行いました。

# 世界へ広がる交流大学

44カ国・地域133大学との学術交流協定を結ぶ創価大学。  
毎年300名以上の留学生が来学して、創大生とともに学んでいます。  
広がる“創大ネットワーク”は、世界を結ぶ懸け橋に。

FOREIGN STUDENT



ハバナ大学／キューバ  
サラザール・ラコスタ・エリック・ウィリアムさん

来日しようと思ったきっかけは、幼い頃に歌舞伎を観る機会がありました。素晴らしい演技に魅了され日本の文化に深い興味を持つようになりました。当初の夢は日本語と文化を学び、そして可能であれば日本に住むことでしたが、今は私のように日本の文化が好きなたちに日本語を教えることが夢です。将来母国で日本語を教えたいと思っています。創価大学に来て数カ月経ちましたが、間違いなく一番素晴らしい経験をさせて頂いています。来日したときには一番寂しい一年になると思っていました。なぜなら一年間ずっと家族や友達から離れることが不安でした。しかし、入寮した時、皆が大歓迎してくれ不安や悲しみが吹っ飛びました。寮のみんなのおかげで、ふるさとから離れていない感じになります。(皆、本当にありがとう。)創大祭に参加出来たことは私にとって本当に一生涯の宝ものです。留学生のパフォーマンス、日本人のパフォーマンス、屋台、全てが素晴らしかったです。その中でも一番嬉しかったのは池田記念講堂で100人の留学生と踊ったことです。練習がもうなくて、とても淋しいです。日本語の先生はとても素晴らしく、一つ一つの授業を楽しくしてくれます。先生がスペイン語で話しているのに分かりやすいです。この素晴らしい先生方々のおかげで夢を実現することができます。たくさん学ぶことができ、とても感謝しています。友達や先生、そして国際課の皆さんも素晴らしいのですが、創立者・池田先生そして創価大学の理念が私の留学を忘れられない経験にしてくれました。来日する前に創価大学や創立者について調べましたが、日本に来てソウカスピリットを体験し、創価大学の理念と哲学を体感することができました。今後人生をどのように歩むべきかを深く考えさせられました。それは日本とキューバの懸け橋となり、一生報恩感謝の思いで頑張ってキューバで日本語を教えていきたいです。

FOREIGN STUDENT

来日のきっかけは、私の母親が日本人で、幼い頃から日本の事を教えてもらっていました。小さな頃、日本語を学びにサマースクールに参加したこともあり日本に関心を持っていました。でも何よりの興味が日本人のエネルギーと想像力の豊かさでした。日本の学生は勉強以外にクラブ活動やバイトなど様々な事を通して学生生活を送っている事を知り、もっと日本の同世代の気持ちや生活を知りたいと思って日本に留学をしました。また自分のルーツも知ることが、自分探しのためにも思いました。来日してからは、寮やキャンパスで過ごし、創大祭の時にはたくさんの友達ができました。私は、人の前で話すことが本当に苦手でしたが、今回の創大祭ではドラマに挑戦し、当日は全然緊張もなく楽しく演奏をすることができました。またその中で実感したことは、日本人の協力的なことです。それは私が、ある留学生に対して、いつも明るく元気で、本当に羨ましいと思っていました。でも、創大祭の記念行事の留学生ダンスが終わった後、その子が泣いている姿を見て、これまで悩んでいたことを聞きました。しかしまわりの日本人などの仲間の励ましで、頑張ることができたと語っていたようです。それを聞いて本当に感動し、日本人が留学生と共に一緒に協力をして、支えながら生きて、頑張っていることを知り本当に感動しました。私の創価大学の大好きな場所は、文学の池や自然豊かなところなんです。私の国は砂漠が多く、森が少ないです。創価大学は大自然の中、森に囲まれて勉強ができることが本当に幸せだと思います。私ももっと日本語を勉強して、たくさん友人を作っていきたいと思っています。



カイロ大学／エジプト  
マリウム・サーレムさん

# 研究室紹介



教育学部

創価大学教育学部  
清水 由朗 教授

## 本学教育学部教授が、再興第96回院展で文部科学大臣賞を受賞しました

本学教育学部児童教育学科の清水由朗教授が、再興第96回院展で、文部科学大臣賞を受賞しました。

「院展」は公益財団法人日本美術院主催の日本面の公募展覧会です。日本美術院とは美術指導者として名高い岡倉天心の発案のもと1898年に創設され、2013年には1914年に再興してより100周年を迎える由緒ある美術研究団体です。

清水教授は1986年から同院展に約25年間出展し続けており、2005年には日本美術院の35人の同人のうち、もっとも若い一人として推挙されました。

今回の受賞作「始動」は、関西国際空港の旅客機に題材をとった作品です。授賞式は9月7日（水）、院展の会場である東京都の日本橋三越本店で行われました。

清水教授は、「今後は、学生の作品が各展覧会において受賞できるよう、学生の中から芸術・文化の分野で秀でた人間が一人でも多く輩出され、より多くの方にもものづくりの楽しさを味わってもらえるよう努力を続けてまいります」と抱負を語られました。

1986年	東京藝術大学美術学部日本画専攻 卒業 再興第71回 院展 初入選	2000年	再興第85回院展 日本美術院賞(大観賞)受賞
1989年	日本美術院 院友に推挙	2001年	日本美術院 招待に推挙
1992年	東京藝術大学大学院美術研究科 博士後期課程満期退学 創価大学教育学部 講師に就任	2005年	日本美術院 同人に推挙
1999年	日本美術院 特待に推挙	2009年	個展 三越本店～名古屋・福岡・仙台巡回
		2011年	再興第96回院展 文部科学大臣賞受賞 作品名「始動」
		現在	日本美術院同人、創価大学教育学部教授、東京富士美術館副館長

創価トピックス

## 創価大学の重宝



### 創立者の第一次訪中をいち早く伝えた『デイリー新報』(第10号)

創価大学が開学してより4年目、本学学生自治会はある機関誌を発刊しました。『デイリー新報』です。それは大学での出来事、学生の活動・活躍、さらには創立者のご行動などを伝える当時の情報機関誌として誕生したものでした。日刊でB6判。当時、学生自治会の記者たちは学内を所せましと駆けながら、毎日休まず発行しました。そのなかでも特別な発行となったのが『デイリー新報』(第10号)です。1974年5月29日、創立者池田大作先生は記念すべき第一次訪中に出発されました。当時の学生自治会の取材陣は創立者が午前中の便で羽田空港から中国へ発つことを知ると、早速都内に泊まり込み、朝早くから羽田空港で待機をしました。その後、創立者ご一行が羽田空港に到着し、搭乗ゲートに入られ、創立者の乗られた飛行機の

離陸が確認されると、いち早く公衆電話から大学の自治会室に急いで原稿を送ります。インターネットのない時代、原稿を送る方法は電話口で原稿を読み、それを大学で書きとめる方法しかありませんでした。こうして『デイリー新報』は創立者の第一次訪中についての記事をどの機関誌にも先駆けて、創大生に伝えることができたのです。まさに『デイリー新報』は創立者と学生をつなぐ学生の手作りの機関誌であり、創立者を求めてやまない学生たちの思いが詰まった機関誌として発刊されたのでした。

## 第41回創大祭・第27回白鳥祭 第37回卒業生・保護者の集い

「伝統の創大祭・白鳥祭、卒業生・保護者の集い」を晴れやかに同時開催!



創大祭を晴れやかに開催



真剣な表情で見学する来場者



4年間・2年間の感謝を込めて合唱

秋晴れの中、第41回創大祭(テーマ「我は征く 共に勝利の大道を 永遠の生命 光あれ」)・第27回白鳥祭(「民衆(とも)の幸福広がる世界へ いま朗らかに新たな価値の創造を!!」)が10月9日(日)から10日(月)で開催されました。期間中は、クラブ団体やゼミナール・研究室を中心として、教室での展示や模擬店、演奏会などが行われ、創大生や短大生の日頃の研究や活動の成果が存分に発揮されました。キャンパス内には、学生やご家族連れの方、一般市民の方々など、両日で約37,000人が訪れ、大成功の中、創大祭・白鳥祭の幕が閉じられました。この創大祭期間中の9日には、今春創大を卒業した学生の集い「第37回卒業生・保護者の集い」も盛大に開催されました。創立者池田先生より、「今の労苦は全部、十年、二十年先に勝つためにあります。断じて負けてはならない。『我らは創大に学んだ、日本一の世界一の実質の幸福者なり』との自負を胸に、何物にも屈せず元気潑刺と前進していくことです。失敗しても、思うようにいかないことがあっても、朗らかに忍耐強く『次は断じて勝つ』という、勝利の確かなる道を築いていくことを忘れないで下さい」とのメッセージを頂きました。参加した卒業生からは、「母校に戻って来ましたが本当に良かった、ここが原点です。今いる場所でさらに結果を出していきたいです」と新しい出発の声が寄せられました。

## 創価栄光の集い 「創価栄光の集い」が盛大に開催されました!



今日まで練習を重ねた成果を披露する創大生



21世紀の今、「人間とは何か」と問うことが重要と学生に語るドゥ・ウェイミン博士(ハーバード大学)



世界から創価大学に集まった留学生たち

秋晴れに恵まれた10月8日(土)、第41回創大祭・第27回白鳥祭を記念する「創価栄光の集い」が池田記念講堂で盛大に開催されました。これには、大震災の影響で卒業式が中止となった卒業生とその保護者、在学生、留学生、教職員、寄付者の代表の方々など多数が参加しました。集いでは、第1部で在学生や留学生による、合唱、ダンスなどが明るくにぎやかに披露。第2部では、ハーバード大学のドゥ・ウェイミン博士に創価大学名誉博士号が授与されました。創立者池田先生は、メッセージを寄せ「『学びの心』が太陽のように輝いていれば、決して行き詰らない。必ず限らない成長と発展への活路を見出していける」等と期待しました。「世界は、いやまして幾多の難題に直面しています。だからこそ、恐れを知らず、疲れを知らぬ若き向学の君たちは『英知を磨くは何のため』との創大スピリットを胸中に響かせつつ、今こそ学んで学んで学び抜いて、人類の新たな価値の創造に挑んでいただきたい」等と期待しました。

## 新入生・保護者の集いを開催

創大生が新入生・保護者を盛大に歓迎



平成23年度の新入生・保護者が参加(池田記念講堂・白鳥体育館)

11月6日(日)、今春、創価大学、創価女子短期大学に入学した新入生、保護者の方々に招待し、「新入生・保護者の集い」を開催しました。第1部では、在学生を代表し、プリンスマーシー・ジャズ・オーケストラ、滝山太鼓、クルーダンス部、ヴォーカルグループ、パイオニア吹奏楽団などのクラブ団体による演技、演奏で、新入生、保護者の方々に歓迎しました。第2部では、新入生代表挨拶を経営学部1年生の福田秀幸さん(宮城県出身)が行いました。また、創立者からのメッセージも紹介されました。参加した新入生からは、「在学生の演技にとっても元気づけられました。創立者からメッセージもいただき、明日から勉学に励む活力となりました」との決意の声が寄せられました。



ボーカルグループのハーモニ



滝山太鼓による演奏

## 第22回 創価芸術展 芸術の秋を彩る、創価芸術展が開催!



優秀賞

「感謝」

創価大学 生命情報工学科 3年 高知県出身 中西 誠さん

伝統の第22回「創価芸術展」が、10月7日(金)～16日(日)まで池田記念講堂で開催されました。これには、幼稚園から大学までの創価一貫教育に学ぶ学生・生徒・児童、アメリカ創価大学、韓国の幸福幼稚園、香港・マレーシアの創価幼稚園、ブラジル創価学園の友が制作した作品が出品。絵画や書、写真など812点が公開され、多くの市民が鑑賞しました。また、創価大学の他、全国3会場(千葉・京都・大分)でも開催され、鑑賞者からは、「力作ぞろいですね!」「作者のみずみずしい感性が伝わってきます」等の声がよせられました。



創価芸術展オープニングセレモニー(池田記念講堂にて)

## 東日本国際大学(福島県いわき市)から、 留学生受け入れに対する感謝状が届けられました



東日本国際大学 石井学長(左)と創価大学 山本学長(右)

11月21日(月)、福島県いわき市の東日本国際大学から、石井英朗学長はじめ一行7名が来学し、東日本大震災直後に、本学が東日本国際大学に通う留学生と教職員157名を受け入れたことに対する感謝状が届けられました。3月13日(日)、震災で大きな被害を受けた東日本国際大学から、本学学内で、留学生の一時的な受け入れを要請されました。明14日(月)、157名の留学生と教職員たちは、いわき市より14時間かけてバス4台で来学し、約1週間、学生寮などに宿泊。創価大学ワールド会(留学経験のある学生による留学推進・支援団体)のサポートを受けながら、滞りました。後日、本学の山本英夫学長が、被災地訪問の帰りに東日本国際大学へお見舞いに伺った際、一度帰国したあとに戻ってきた留学生の皆さんが温かく迎えてくれ、「創価大学で人と人との交流の大切さを知りました。しっかり勉強して国際交流に貢献したいと思います」と挨拶されました。東日本国際大学の石井学長は、「困難を極めた震災・原発問題の対応の中で、創大の協力を得られたことは本当に心強かった。深く感謝の意を表したい」と感謝を述べられました。



東日本国際大学からの感謝状

## 保護者教育相談会開催

全国36会場に800名を超える保護者が参加。



創大祭の映像と共に大学の報告を行う山本学長(神戸会場)

この秋、10月23日(日)～11月27日(日)の間、全国36会場で在学生の保護者の方々を対象に、履修や成績などの教務関係、クラブや奨学金などの学生生活、キャリア支援や就職などをテーマにした保護者教育相談会を開催しました。相談会には教員と共に教務部、学生部、キャリアセンターの職員が参加して、全体の説明会を行った後、個別の相談に乗りました。11月12日(土)・13日(日)に行われた岡山会場と神戸会場は、山本学長をはじめ各担当部署の職員が参加。山本学長は「皆様のお陰で、国際交流の拡大や教育システムの充実など着実に発展し、学生の皆さんも元気に各分野で見事な成果を出し活躍しています。2013年度には新総合教員棟が完成します。これからも創立者のもと、学生第一の大学、社会に貢献する大学を目指してまいります」と大学の現状を報告し挨拶しました。

## 主な来学者

世界の学術機関の代表者が教育・文化・平和交流のために来学されました。

9/16 FRIDAY

国立釜慶大学 / 韓国

朴孟彦総長一行が来学



国立釜慶大学から、創立者池田大作先生に「名誉国際地域学博士号」が授与されました。

10/20 THURSDAY

井岡山大学 / 中国

張泰城学長一行が来学



井岡山大学から、創立者池田大作先生に「名誉教授称号」が授与されました。

11/8 TUESDAY

アンカラ大学 / トルコ共和国

ジェマル・タルー学長一行が来学



ジェマル・タルー学長に創大最高栄誉賞が授与されました。

10/13 THURSDAY

国立中央ルソン大学 / フィリピン共和国

ルーベン・セビリェハ学長一行が来学



国立中央ルソン大学から、創立者池田大作先生に「終身名誉教授称号」が授与されました。

10/25 TUESDAY

バッキンガム大学 / 英国

テレンス・キーリー副総長一行が来学



バッキンガム大学から、創立者池田大作先生に「名誉文学博士号」が授与されました。

11/9 WEDNESDAY

集美大学 / 中国

蘇文金学長一行が来学



集美大学から、創立者池田大作先生に「名誉教授称号」が授与されました。

## 創大生の読む本

学生ホール  
書籍売れ行き  
ランキング

英知を磨き、心の世界を開く読書。  
創大生が読んでいる本は何なのか？  
昨年に続き、学生ホール書籍売れ行き  
ランキングを発表します♪



### 一般書部門

1 **もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら**  
岩崎夏海 / 著 ダイヤモンド社

2 **これからの「正義」の話しよう いまを生き延びるための哲学**  
マイケル・サンデル / 著 鬼澤忍 / 訳 早川書房

3 **心を整える。**  
長谷部誠 / 著 幻冬舎

### 文庫部門

1 **思考の整理学**  
外山滋比古 / 著 筑摩書房

2 **モンテ・クリスト伯**  
アレクサンドル・デュマ / 作 山内義雄 / 訳 岩波書店

3 **図書館戦争 図書館戦争シリーズ1**  
有川浩 / 著 角川書店

2011年5月～10月 半期売上げ



# 学生の活躍

～自分の可能性を信じて～

## 硬式野球部が全国大会でベスト4!



力投する小川投手(明治神宮野球場)

11月26日(土)、秋の全国大会である第42回明治神宮野球大会の準決勝で、硬式野球部は愛知学院大学と対戦。タイブレーク方式の延長10回の末、1-2で惜敗しましたが、堂々の全国ベスト4に輝きました。この日、創立者は奮闘してきたメンバーを讃え、記念の和歌を、更に試合後にも、ご伝言と和歌を贈りました。主将の脇山渉さん(4年)は、「応援してくださった皆様に、心より感謝します。4年間で“人生の勝利者”になるための土台を培うことができました。一緒に戦った後輩たちには、(創立者との)“誓願の日本一”を果たしてもらいたと思います」と、次を見据えて進み出した後輩に、望みを託しました。

## 銀嶺合唱団が全国大会に出場!



これまで各賞に輝いてきた「銀嶺合唱団」

第64回全日本合唱コンクール全国大会が11月19日(土)青森市文化会館にて開催され、創価大学の銀嶺合唱団が銅賞に輝きました。部長の山根えりかさん(3年)は、「日本一を目指してきましたが、私たちはまだまだ成長できると感じました。創立者よりいただいた指針を胸に、創立者と同じ心でお客様に勇気と希望を贈る、また私たち自身が歌う喜びを感じられる活動を続けていきます」と決意を語りました。東北での開催となった本年、震災からの復興を願う温かい雰囲気にも包まれた大会は、爽やかな学生同士の交流の場ともなりました。

## 伝統の「スピーチコンテスト」を開催!



ドイツ語スピーチコンテスト(主催:ドイツ語研究会)

本学伝統のスピーチコンテスト(10言語による外国語弁論大会)が、11月から12月にかけて、本学のクラブ団体が主催し、各国大使館の後援・協力のもと開催されました。本コンテストは、1974年、創立者が初訪中の折、日中友好を担う青年交流のために中国語弁論大会の開催を提案したのが淵源です。大会には、各国の大使や大使館関係者が来賓や審査員として出席し、弁士として全国から学生や社会人が参加しました。また、コンテストに加え、音楽、ダンス、劇など、様々な催しを通して各国の文化・魅力を伝えました。



## 大船渡高校の鈴木校長(3期生)を訪問



創価大学 第3期 卒業生 岩手県立大船渡高校

鈴木 晃彦校長

12月4日(日)、岩手県立大船渡高校の鈴木晃彦校長を山本学長が訪問し、3.11東日本大震災の対応や高校の進路状況、鈴木校長の学生時代について話を伺いました。鈴木校長は盛岡一高で進路指導主事も務めたことがあり、進路指導では全国の高校で知られています。東日本大震災で多大な被害を受けた大船渡。高校は少し高台にあり無事でしたが、津波が港の方から家や車と一緒に押し寄ってきたそうです。その後は避難場所にもなりました。そして、大船渡高校は、「チーム大高2011宣言～3.11東日本大震災を経験した地方高校の挑戦～(①Let's Smile and Laugh Anytime. ②Think Globally, Act Locally. ③What's Your Mission? ④Discover Your Potential)」を発表取り組みを開始しました。鈴木校長は、高校生の成長を願い、「日本全体が内向き傾向にある中、一歩踏み出すことが大事。ちょっとタイトでも挑戦してみる、生き抜く力が大切と生徒たちに話しています。今の高校生は

やんちゃな面もありますが、打てば響く感性を持っています。ポテンシャルをどう引き出すかです」と力強く語ってくれました。また、鈴木校長は「実は高校時代までは寡黙な性格で話すことが苦手でしたが、創価大学へ入学して一変しました。学内には言葉が飛び交い、夢が飛び交っていました。方言も様々。“俺は変わる”と思いました」と創大時代を振り返り、ゼミでの勉強の思い出をはじめ、海外と日本の文化や価値観の違いを知った体験などを嬉しそうに語り、母校・創価大学の発展を心から喜んでいました。



## 短大卒の誇りを胸に米国大学の教壇に立つ!



創価女子短期大学 第7期 卒業生  
米国大学助教授

田村 瀬津子さん

田村さんは創価女子短大の英語科を卒業した後、外資系企業で貿易事務の仕事に数年間従事。その後青年海外協力隊員として、ケニアにて、海洋資源保護プロジェクトの環境保護教育官として数年間勤務しました。その後、米国ニューヨーク州立大学バッファロー校に編入し、女性学の学士を取得。後に、ニュージャージー州立ラトガース大学ニューアーク校の国際情勢学部の博士課程に進学し、アフリカの地域統合に関するテーマで博士論文を執筆。2011年の5月に博士号を取得しました。同年9月から、助教授として、ワシントン州にあるキリスト教系の私立大学の政治科学部にて、国際関係論、国際開発論、アフリカ地域の政治、アジア地域の政治などのクラスを担当。田村さんは語ります。「まだまだ若輩者の私ですが、アフリカとアメリカとアジアを繋ぎ、異文明間の対話を進める創価の教育者、研究者として最大限の努力をしてみたいです!」



ニューヨーク州立大学バッファロー校



ニュージャージー州立ラトガース大学ニューアーク校



# 学生の活躍

～自分の可能性を信じて～

Winners of 3rd Schliemann Award

## 第3回創価大学シュリーマン賞受賞者

創価大学シュリーマン賞は、積極的な国際交流を誇る本学において、語学コミュニケーション能力に優れた人材のさらなる育成を図り、国際性豊かな世界市民の輩出をめざすことを目的として設置されました。「大いなる夢」に生きる情熱を持って、類まれなる語学の才能を発揮したシュリーマンの名を冠した本賞によって、語学習得に励む創大生の努力と成果を顕彰していきます。2011年度の実績者を紹介いたします。



### TOEIC高得点者

法学部 法律学科 4年 <b>加藤 正昭</b>	法学部 法律学科 4年 <b>中溝 慶子</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>高山 妙子</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>池田 孝志</b>
法学部 法律学科 4年 <b>市川 智也</b>	法学部 法律学科 4年 <b>木暮 光恵</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>吉留 京花</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>澁井 好恵</b>
法学部 法律学科 2年 <b>勝山 春華</b>	法学部 法律学科 2年 <b>牛田 貴広</b>	文学部 人間学科 4年 <b>齋藤 翔</b>	文学部 人間学科 4年 <b>久保田 恵子</b>
法学部 法律学科 2年 <b>小林 咲彩</b>	法学部 法律学科 2年 <b>毛利 道子</b>	文学部 人間学科 4年 <b>大内 和沙</b>	文学部 人間学科 4年 <b>斉藤 由美</b>
法学部 法律学科 1年 <b>海野 美香子</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>中尾 和平</b>	文学部 人間学科 4年 <b>菊池 広幸</b>	文学部 人間学科 4年 <b>杉山 秀男</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>福地 法恵</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>庭田 宏美</b>	文学部 人間学科 4年 <b>中山田 明</b>	文学部 人間学科 3年 <b>柳沢 春樹</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>下山 敏明</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>石黒 琢美</b>	文学部 人間学科 1年 <b>井上 康生</b>	文学部 人間学科 1年 <b>岡田 理志</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>菊地 愛</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>LI BRIAN</b>	経営学部 経営学科 4年 <b>堀之内 裕司</b>	経営学部 経営学科 4年 <b>辻塚 秀幸</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>志水 花与子</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>喜舎場 明子</b>	経営学部 経営学科 4年 <b>森本 智子</b>	経営学部 経営学科 3年 <b>中田 萌</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>三本松 伸夫</b>	経済学部 経済学科 4年 <b>野本 奈津美</b>	経営学部 経営学科 2年 <b>松本 幸子 ソニア</b>	教育学部 教育学科 2年 <b>橋口 一城</b>
経済学部 経済学科 4年 <b>金子 雅枝</b>	経済学部 経済学科 3年 <b>高瀬 秀樹</b>	教育学部 教育学科 2年 <b>小島 信子</b>	教育学部 児童教育学科 2年 <b>宮本 勇一</b>
経済学部 経済学科 3年 <b>佐藤 正敏</b>	経済学部 経済学科 3年 <b>橋田 秀子</b>	教育学部 児童教育学科 1年 <b>竹野 美香</b>	工学部 情報システム工学科 4年 <b>朱 亨國</b>
経済学部 経済学科 3年 <b>武藤 綾子</b>	経済学部 経済学科 3年 <b>實松 萌</b>	大学院 文学研究科 2年 <b>石川 真穂</b>	大学院 文学研究科 2年 <b>沖久 瑠美</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>竹中 智</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>羅 偉清</b>		

### 複数の選考理由による受賞者

TOEIC高得点者 フランス語検定2級 <b>野村 翔太</b>	TOEIC高得点者 TOEFL高得点者 <b>佐藤 千華</b>
英語検定試験準1級 旧HSK8級 <b>益子 健児</b>	中国語検定試験2級 旧HSK7級 <b>磯部 美月</b>
中国語検定試験2級 旧HSK7級 <b>好見 愛紀</b>	

### 英語検定試験(準1級)

法学部 法律学科 3年 <b>新関 大海</b>	法学部 法律学科 3年 <b>長野 恵梨香</b>
文学部 人間学科 4年 <b>北林 尚子</b>	経営学部 経営学科 4年 <b>宮本 安茂</b>

### フランス語検定試験

法学部 法律学科 4年 準1級 <b>斎藤 華</b>	文学部 人間学科 4年 2級 <b>竹中 申明</b>
工学部 環境共生工学科 3年 2級 <b>桐生 恵美子</b>	

### TOEFL高得点者

法学部 法律学科 3年 <b>奥浦 進治</b>	法学部 法律学科 2年 <b>大川 愛里</b>
法学部 法律学科 2年 <b>下山 萌代</b>	法学部 法律学科 2年 <b>田村 聡美</b>
法学部 法律学科 1年 <b>池之上 清美</b>	法学部 法律学科 1年 <b>松尾 和沙</b>
経済学部 経済学科 3年 <b>岩城 正子</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>馬場 明子</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>佐野 啓文</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>林 孝一</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>中村 信之</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>野上 洵</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>三田 泰弘</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>木場 喬介</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>鈴木 時光</b>	経済学部 経済学科 2年 <b>矢野 正悟</b>
経済学部 経済学科 2年 <b>須藤 英男</b>	経済学部 経済学科 1年 <b>北條 美沙</b>
経済学部 経済学科 1年 <b>小川 正樹</b>	経済学部 経済学科 1年 <b>岩城 貴子</b>
経済学部 経済学科 1年 <b>重富 由貴</b>	文学部 人間学科 3年 <b>鈴木 智恵</b>
文学部 人間学科 2年 <b>阿部 薫子</b>	経営学部 経営学科 1年 <b>日下 堯</b>
教育学部 教育学科 4年 <b>岡本 智宏</b>	工学部 情報システム工学科 2年 <b>石垣 原野</b>
工学部 環境共生工学科 2年 <b>中村 賢一</b>	工学部 環境共生工学科 2年 <b>小坂 建太郎</b>
工学部 環境共生工学科 2年 <b>渡辺 伸一</b>	

### ドイツ語検定試験(2級)

文学部 人間学科 3年 <b>青木 愛</b>
----------------------------

### 中国語検定試験(2級)

文学部 人間学科 4年 <b>佐藤 優</b>
----------------------------

### 中国語試験HSK

文学部 人間学科 4年 旧7級 <b>御殿谷 妙子</b>	文学部 人間学科 4年 旧8級 <b>兼子 純恵</b>
文学部 人間学科 3年 旧7級 <b>島田 由美</b>	法学部 法律学科 4年 5級 <b>野津 英雄</b>
経済学部 経済学科 4年 5級 <b>平谷 幸子</b>	文学部 人間学科 4年 6級 <b>成田 寛子</b>
文学部 人間学科 3年 6級 <b>河合 美紗子</b>	文学部 人間学科 3年 5級 <b>山田 絵美子</b>
経営学部 経営学科 3年 5級 <b>日吉 ヨシアキ</b>	

### 日本語能力試験(N1級)

経済学部 経済学科 3年 <b>権 コドウム</b>	文学部 人間学科 4年 <b>金 銀中</b>
文学部 人間学科 2年 <b>全 寶彌</b>	大学院 文学研究科 1年 <b>崔 恩瑞</b>

# 2012年度 入学試験日程

## 創価大学

	出願期間	試験日	合格発表
大学入試センター試験利用入試(前期)	2012/1/4(水)~13(金)	2012/1/14(土)、15(日) ※センター試験を受験	2012/2/9(木)
一般入試	2012/1/4(水)~27(金)	経済・法・教育学部 2012/2/13(月)	2012/2/22(水)
		経営・文学部 2012/2/14(火)	
		工学部 2012/2/15(水)	
大学入試センター試験利用入試(後期)	2012/3/1(木)~9(金)	2012/1/14(土)、15(日) ※センター試験を受験	2012/3/19(月)

## 創価女子短期大学

	出願期間	試験日	合格発表
一般入試	2012/1/4(水)~23(月)	2012/2/5(日)	2012/2/10(金)

### ● 創価大学一般入試会場 一覧 ●

東京	創価大学	八王子市丹木町1-236	名古屋	愛知県産業労働センター	名古屋市市中村区名駅4-4-38
札幌	駿台予備校札幌校	札幌市北区北6条西6-1-7	大阪	天満研修センター	大阪市北区錦町2-21
仙台	ベルエア会館	仙台市青葉区一番町1-4-3	広島	広島国際会議場	広島市中区中島町1-5
水戸	茨城県開発公社ビル	水戸市笠原町978-25	高松	サンポートホール高松	高松市サンポート2-1
新潟	新潟公務員法律専門学校	新潟市中央区花園1-1-12	福岡	福岡県中小企業振興センター	福岡市博多区吉塚本町9-15
静岡	グランシップ	静岡市駿河区池田79-4	那覇	那覇尚学院(別館)	那覇市泊2-17-4



### 創大生からの 受験生応援メッセージ!

創価大学の受験にあたって受験生の皆さんは、ものすごい緊張と不安などに悩まされている方も多いと思います。そんな中で私が創価大学の受験直前に行っていたことは、今までの受験勉強でまとめたノートを見直し、焦らずに自分を強い気持ちで信じていたことです。「必ず創価大学に合格する!」と、不安があるなかでも強い確信を持ち続け、自分が今までやってきたことを信じ切りました。受験は強い自信を持ったもの勝ちだと思います。頑張ってください!

工学部 生命情報工学科 2年 / 青森県出身 県立八戸西高等学校

佐藤 裕介さん



### 短大生からの 受験生応援メッセージ!

受験は悩みや苦悩の連続ですが全てのことには意味があり、必ず自分の空になると思います。私も受験生時代は何度も受験から逃げ出したいくなりました。しかし受験に挑戦していなかったら人の本当の心の辛さをわかることができなかったし、周りの支えに気づけなかったと思います。一生涯受験に挑戦すること自体、自分の勝利になっていると思うよ。あと少し、悔いのないよう頑張ってください!短大で未来の妹を待っています!

現代ビジネス学科 1年 / 東京都出身 都立江戸川高等学校

田沼 弘子さん



## 創大 短大 キャンパスガイド2012

創価大学、創価女子短期大学の入試要項(願書)や、キャンパスガイド2012をご請求いただけます。請求方法は以下の通りです。ご希望の方はぜひご利用ください。

☎ テレメール 以下に電話し、資料番号を登録してください。

IP電話番号

**050-8601-0101**

※お問い合わせは050-8601-0102へおかけください。

●インターネット(PC・携帯電話 http://telemail.jp)からも請求できます。

資料番号

入試要項(願書) ..... 160189(短大:174150)  
過去の入試問題集(1年分) ..... 157070(短大含む)  
創大キャンパスガイド2012 ..... 151891(短大:154151)

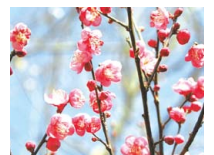


資料請求用QRコード

### 創大ホームページ 丹木の歳時記より



真っ白な雪をかぶった富士山が、堂々とそびえ立っています。



新しい年を迎え、梅のつぼみが少しずつひらき始めました。

OPEN CAMPUS 2012 3/18(日)・5/3(木・祝)・4(金・祝)・7/29(日) 開催時間 10:00~16:00

みんなも来てね!



### 編集部からのお知らせ

編集部では読者の皆さまの声を募集しています。感想などがありましたら、下記までお寄せください。これからも充実した誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX:042-691-9300 E-mail:hiroba@soka.ac.jp

※皆さまからいただきました感想などは「読者の声」の欄で紹介させていただく場合があります。

SUN  
Soka Univ. News

Soka University News 72号

●編集発行 / Soka University News 編集委員会 ●発行責任者 / 田代 康則 ●編集長 / 八矢 大作  
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236番地 Tel.042(691)2215 Fax.042(691)9300  
ホームページ / http://www.soka.ac.jp 2012年1月発行



揮発性有機化合物を低減できる大豆インクを使用しています。